

第 71 回調査研究委員会報告書

1. 日 時 令和 5 年 9 月 13 日(水) 13 : 00~16 : 00

2. 場 所 各事業所 (リモート)

3. 出席者	調査研究委員長		泰 楽 秀 一
	調査研究委員	北海道地区	道 端 忠 志
	同	東北地区	須 賀 律 人
	同	北陸信越地区	島 田 涉
	同	関東地区	吉 岡 一 三
	同	中部地区	大 原 孝 司
	同	関西地区	松 本 礼 士 郎
	同	中国地区	定 光 純 一
	同	四国地区	竹 本 健 治
	同	九州地区	柴 田 宗 宏
	担当副会長		芝 幸 宏
	会 長		小 倉 龍 一

4. 挨拶

須賀副委員長より開会宣言があった後、芝副会長より挨拶が行われた。

5. 議 題

議題 1 調査研究委員会 令和 5 年度事業計画について

○第 70 回調査研究委員会の振り返り

委員会報告書参照

○令和 5 年度事業計画について

各チームより、令和 5 年度の調査研究委員会事業計画の進捗報告がなされた。

レバーレートチーム

今年度の活動方針として、

①全国津々浦々リアルタイムに情報共有できるシステムの模索。

②チーム発足からの協議内容を公式文書として①に載せて配信する。

の二つに取り組んでいくこととした。

廃棄物チーム

今年度は、昨年度作成した廃棄物費用負担のポスター原版を印刷し、SDGs 認証とも関連させて配布する。

SDGs 本委員会会議第1回目を9月12日に開催し、以下の取り組みを行っていくことに決定した。

- ① 交換から修理の推進による廃棄量の低減
- ② 廃棄物のリサイクルを推進
- ③ 各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業
- ④ 次世代自動車に対応した整備体制の構築

組合員に向けたアンケート調査、コンプライアンスチェックシート作成を外部に委託する。

材料代チーム

- ① 前年度に行ったアンケート調査を基に、钣金材料代及び塗料・副資材の実態検証を行う。6月4日に岐阜、7月21日に富山、9月10日に埼玉で実証講習を実施した。
- ② ①の検証結果を分析、フィードバックする。
- ③ 塗料メーカー及び塗料販売店と定期的な協議を行う。

泰楽委員長より

団体交渉について9月13日時点での進捗報告がなされた。

- 6/30 公正取引委員会へ事前相談を行った。
- 7/7 公正取引委員会より質問事項および資料提出を求められた。以降、順次資料を提出。
- 7/11 国土交通省物流・自動車局整備課へ本件の説明をした。
- 7/28 公正取引委員会より、追加で資料提出を求められた。(大規模事業所の有無が分かる資料及び団体協約の過去事例) →会長名公文書で単組へ調査依頼。
- 8/2 経済産業省中小企業庁事業環境部取引課に本件の説明を行った。
- 8/4 公取委から質問を受けたことによる事前相談申出書の記載を補正する必要が生じたため、事前相談申出書を再提出した。
- 9/4 公正取引委員会より追加質問及び追加資料提出を求められた。(団体交渉において当連合会が独禁法に抵触しないかどうかを見定めるための事務的な追加質問)
- 9/13 上記追加質問に対し回答。

議題2 次回開催日の決定

○開催日時 令和5年11月15日(水) 13:00~16:00

○開催場所 リモート(ZOOM)

以上のおり調査研究委員会の提出議案の全ての審議を終了し、定光副委員長の閉会宣言をもって16時00分に閉会した。